

▶チャレンジド

KSCの2回目講習に 手話通訳がサポート登場

愛称“タロカポネ”こと、麻生太郎副総理が「パティシエとは面白いところに目を付けた」と注目するチャレンジド(=障がいのある人)支援プロジェクト「神戸スイーツ・コンソーシアム」(KSC)。6年目を迎え、被災地仙台と東京の各講習会場から映像を発信し、2会場のチャレンジドが同時学習するという遠隔講習を6回開催する。



講師の野澤シェフと
受講生(仙台会場)

講師陣は、八木淳司マイスター(モロゾフ)をはじめ、西川功晃シェフ(神戸「サ・マーシュ」)、永井紀之シェフ(東京「ノリエット」)、野澤孝彦シェフ(東京「ノイエス」)、川内唯之シェフ(東京「香川調理製菓専門学校



ブロップ・ステーションの竹中ナミ理事長(左)の挨拶を
手話通訳するプラスヴォイスのスタッフ(右)



プロから目と耳、
手からも教えてもら
う(仙台会場)



東京会場では仙台の野澤
講師の説明を受け、サポ
ート講師が実地を指導



仙台と東京を結ぶ遠隔講習
のネットワーク画面

校)、大場武芳シェフ(仙台「メルヴェイユ仙台」)、杉本都香咲シェフ(東京「シェ・トラ」)という錚々たるメンバー。

第2回が7月20日(土)、野澤孝之シェフの指導で、ブレッチェルとケシの実ケーキを学んだ。今回は、耳の不自由な方へのITによるコミュニケーションサポートで10年以上の実績を持つ仙台拠点の(株)プラスヴォイスが手話通訳を支援した。